

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度第 2 回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成 28 年 6 月 10 日（金）午後 6 時から午後 9 時まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山 茂（会長）、有泉圭助、浦野憲一（副会長）、金井秀雄
金子八重子、佐藤順治、高橋由美子（副会長）、田中正一
船崎 聡、水野恵一郎、森 紀文、吉田文男、吉原ゆかり
（1 名欠席）

- ・ 事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、野口係長、小林主事

8 発言の内容

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【浦野副会長】

- ・ 挨拶
- ・ 会長が到着するまで議事進行を務めることを報告
- ・ 会議録の確認者：会長と浦野副会長

議題(1)地域活動支援事業について入る。13 件の提案があるが、1 件あたりに事務局

から概要説明が1分、提案者から事業説明が4分、その後質疑応答が5分の合計10分で行う。終了の1分前にベルでお知らせする。これよりヒアリングを開始する。

— 提案者入室 —

【浦野副会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

・「新-1 新道地区高齢者いきいき支援事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【浦野副会長】

「新-1」について質疑を求める。

健康講座は既に済んでいるようだが、謝礼はどうなっているのか。

【提案者】

医師への謝礼は既に支払い済みだ。万歩計は協議会で事業採択していただいた時点で購入する予定だ。

【船崎委員】

個人的には万歩計はなくてもよいと思う。県立中央病院の外周ほどのくらいか。

【提案者】

1周600歩くらいだ。各々の体力に合わせてやっているの、1周の人もあるし、3周の人もある。個人個人で記録をとっており、1年間に1回評価する。

【浦野副会長】

ヒアリングなので、万歩計が必要でない等の個人的な意見は採点票の記入の際に点数で表していただければよいので、ご遠慮願いたい。

【田中委員】

会員数はどのくらいか。また、この事業は継続して行うのか。

【提案者】

会員は41人だ。今年で7年目になり、今後も続ける予定だ。

【高橋副会長】

支出にて、優先順位があれば教えて欲しい。

【提案者】

医師への謝礼金等は既に支払っているのので、優先したい。

【田中委員】

町内からは、お金は出ていないのか。

【提案者】

町内からはもらっていない。

【浦野副会長】

これでヒアリングを終了する。また、会長が来られたので、議長交代を報告する。

— 議長交代 —

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

・「新-2 夏祭り・町内運動会の充実を図る事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-2」について質疑を求める。

【船崎委員】

夏祭りと運動会はどちらも「やすらぎ公園」内でやるのか。また、綱引きは今年からだが、今まではどのような競技をしていたのか。

【提案者】

公園内で行う。

(昨年パンフレットの競技種目を読み上げる)

昨年の反省会で、綱引きなら大勢の人が参加できるということで今年から綱引きをやることになった。

【高橋副会長】

支出にて、優先順位があれば教えて欲しい。

【提案者】

子どもの半纏と、綱引きのロープと、テントだ。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

・「新-3 市道の防犯灯新設による安全・安心な地域力向上活動事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-3」について質疑を求める。

【有泉委員】

まずは市に要請するのが筋だと思うのだが、市に要請したのかどうか。もし、市に要請して却下されていた場合は、その理由も教えて欲しい。

【提案者】

市のLED交換の補助金は、既存の設置部分の取り換えを急ぎたいので優先して申請しており、今回の新しい街灯については申請していない。さらに、新道区では既存のLEDの交換は地域活動支援事業では申請できないとなっているので、新規分の提案に至った。

【田中委員】

提案の道路は、通学路に指定されていないのか。

【提案者】

中央病院に抜ける道で非常に車通りが多いし、ガードレールのない川沿いもあり、人身事故が起きそうなほど危険だ。

【金子委員】

今の話を聞いていると、市への申請から実現には時間が掛かるようなので、協議会から市に提案することはできないのか。

【秋山会長】

基本的には提案者が市民安全課に申請してもらうことなので、協議会で動くことではない。

【田中委員】

LEDはもっと安い業者もあるので、今後は検討して欲しい。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

・「新-4 イーストユニティーズ幼年野球活性化事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-4」について質疑を求める。

【浦野副会長】

ユニフォームを25着購入とあるが、子どもたちの数になっているのか。また、高学年が少なく、低学年用のユニフォームを中心に揃えると書いてある。低学年は公式戦には出られないと思うのだが、それで部員は満足するのか。

【提案者】

今は子どもが19人在席している。大会等に登録できる人数は22人なので、25着購入にした。低学年は試合に出られないという話だが、我がチームは低学年も出ている。

【浦野副会長】

私は5年前に、富岡小学校区の少年野球のユニフォームを提案したのだが、10人の委員が駄目だということで却下になった経緯があるが、そうなっても大丈夫か。

【田中委員】

昨年もユニフォームの提案が出たが、個人のユニフォームについては駄目だということだった。皆で使うベンチやヘルメット、審判道具は採択した。富岡少年野球はユニフォーム基金を作り、ユニフォームが古くなったら更新している。あと、アンダー

シャツなど個人が身に付けるものは個人持ちでやっているそうだ。新道区の採択基準には、少し合わないような気がする。

【船崎委員】

助成金はないのか。

【提案者】

町内会から頂いているものがあつたが、再度お願いに行ったら、地域活動支援事業に挙げて欲しいという話を言われて提案した。

【金子委員】

委員からは、子どもたちの夢を持ってもらいたいとか、喜んでもらいたいという気持ちを汲んでいただきたいと思う。個人的にはユニフォームだけでもよいと思う。低学年のユニフォームはブカブカでも構わないと思う。駄目だというのはどうかと思う。

【高橋副会長】

支出にて、優先順位があれば教えて欲しい。

【提案者】

ユニフォームは夏も冬もお願いしたい。それと、土だ。

【浦野副会長】

試合のエントリーメンバーは何人か。

【提案者】

22人だ。

【浦野副会長】

それなら22着あればよいのではないか。また、土については稲田小学校とどのような話になっているのか。

【提案者】

校長先生には、置いてよいという話になっている。場所については、事業採択されてから相談することになっている。

【浦野副会長】

土はグラウンドの土ではなくて野球場の土か。また、ユニフォームは試合用と練習用とは別なのか。

【提案者】

ダイヤモンドの中の土だ。ユニフォームは試合用と練習用は別に使っている。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

・「新-5 新道村の歴史を調査し継承する事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-5」について質疑を求める。

【船崎委員】

この520部というのは前売りの400部と、寄贈する120部ということだが、それ以外は考えていないということか。

【提案者】

考えていない。

【船崎委員】

それ以外に希望があったらどうするのか。

【提案者】

注文があったら増刷する予定だ。

【船崎委員】

普通だと3から4割引だが、定価3,800円の物を、前予約で1,000円にした根拠を教えてください。

【提案者】

この提案は3年目だが、22の町内会長と話し合っ、指摘されたようなことも話し合っ、決めたことだ。1,000円が高いか安いかは議論があるかもしれないが、新道地区で全戸配布したかったが、それは難しいということで、1,000円を目途に負担していただこうということになった。3,200戸あるので、少なくとも1,200部くらいの注文があると思っていたが、結果的には現状の400部になっている。そこら辺を理解していた

だきたい。

【船崎委員】

結果的には読みが甘かったということだ。製本する費用を地域活動支援事業で賄うという判断はまずいと思う。減額になったら費用はどうするのか。

【提案者】

編集委員の皆さんの謝礼も予算で上げているので、謝礼をボランティアという形でお願いしたいと思っている。

【吉田委員】

450万円という額はあまりに大きすぎ、新道区への配分額を半分以上占めているので、皆さんからの提案を全て採択するのは難しいと危惧される。我が町内は冊子の注文を取ったらわずか4件だった。事業の主旨は非常によいが、今年度と来年度に分けて継続してやるということは可能か。

【提案者】

来年、希望があって増刷ということがあれば、改めてお願いするかもしれないが、今年度については増刷までは考えていない。

【有泉委員】

歴史を見てもらって、新道地区の誇りを持ってもらうためには必要だと思うが、補助額があまりに高すぎるので、その辺を上手くやれる方法を考えてもらいたいがどうか。

【提案者】

印刷の部数が増えれば印刷代金をもっと安くなるはずだ。発刊されてから買いたいという人も聞いているので、希望が多ければ来年度は増刷をしたいと考えている。

【秋山会長】

時間になったのでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

- ・「新-6 稲田3丁目子供会子供神輿渡御活性化事業」について説明

【提案者】

- ・ 事業内容について説明

【秋山会長】

「新-6」について質疑を求める。

【浦野副会長】

稲田祇園祭は三丁目だけでないはずだが、他の町内の子供会は、これについて無関係なのか。

【提案者】

子ども神輿を出して練り歩くのは、各町内の子ども会で行っている。

【浦野副会長】

稲田一丁目から四丁目のそれぞれ子ども神輿があるが、三丁目だけ引き車がないということなのか。

【提案者】

そのとおりだ。

【田中委員】

レンタルだと、いくらぐらい掛かるのか。

【提案者】

レンタル期間によるが2万円くらいだ。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

- ・ ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案の概要説明と、提案者に事業の説明を求める。

【野口係長】

- ・ 「新-7 清徳館（稲田スポーツ少年団）による剣道を通じた青少年育成事業」について説明

【提案者】

- ・ 事業内容について説明

【秋山会長】

「新-7」について質疑を求める。

【有泉委員】

稲田小学校では部員数が少ないが、増やす努力はしているのか。また、実績には平成28年以外に何も書いていないので、教えてもらいたい。

【提案者】

人数を増やすには、毎年団員募集のチラシを作って、新道地区、津有地区等に配布している。体験会の開催やホームページ等でも募集している。一番大きいのは、実績では、数年前に全国大会に参加した。新潟県の中で8チーム選抜の中で選ばれた経緯がある。

【船崎委員】

町内からの助成金は出していないのか。

【提案者】

子安町内会と上島町内会から頂いている。あとは、会の代表者が稲田三丁目に住んでいるので毎年大会をやった時には稲田三丁目町内会から頂いている。

【浦野副会長】

今使っているものは、20年以上使っていると考えて良いのか。

【提案者】

今使っているものは寄せ集めのものだ。10個程度は団の中で利用しているものを使って練習している。

【高橋副会長】

物品購入の中で優先順位を教えて欲しい。

【提案者】

上から優先度の高い順で、試合胴、デジタルタイマー、和太鼓と記載している。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

- ・「新-8 高齢者の活動活性化事業」について説明

【提案者】

- ・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-8」について質疑を求める。

【有泉委員】

稲田会館が空いている時は、他の町内も使うが、その時にはカラオケセットを貸して貰えるのか。

【提案者】

事業採択されたら、地域の皆さんの要望も聞き入れたいと思う。

【浦野副会長】

この会は、老人会とは別なのか。

【提案者】

老人会とは別組織だ。

【田中委員】

昨年度も稲田三丁目の「お達者クラブ」へカラオケと輪投げセットを11万3千円で補助している。比べると金額が高いが、機器が良いものなのか。

【提案者】

音量出力や曲数が多いものにしたら高くなった。

【船崎委員】

町内会では補助は一切でないのか。また、テレビの画面が32型になっているが、14型では駄目なのか。

【提案者】

町内からは昨年度5万円の補助と、今年度は6万円の補助が年間で出ている。

歳をとると、画面が小さいと字が見えないので大きい方がよい。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

・「新-9 鴨島2丁目自主防災組織・災害時に即応した環境整備事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-9」について質疑を求める。

【船崎委員】

鴨島一丁目とは話はしたのか。

【提案者】

話はしていないが、他の町内とも度々そういう話は出ている。

【船崎委員】

防災収納庫は公園にあるが、それはどうなるのか。また、土地所有者から内諾を得ていると書いてあるが、将来的に所有者が防災収納庫を動かしてくれと言ったらどうするつもりか。

【提案者】

既存の防災収納庫には、色々な物品が入っているので、災害時の対応が難しい。次に、土地所有者に関しては、全財産は放棄しており印鑑も貰ってある。

【浦野副会長】

鴨島三丁目にも1か所、鴨島二丁目は稲田一丁目との境に水防倉庫がある。船崎委員も言うように、関連する町内会や関川の管理事務所とも相談して、作るならそれなりの物を作った方が良いのではないかと思う。

【提案者】

目の前が水浸しになったらどうするのか。我々は自分たちで出来ることは自分たちでしようということで提案した。

【高橋副会長】

土嚢袋は収納庫がないと駄目なのか。

【提案者】

無いと収納先に困る。

【田中委員】

土嚢袋は50センチメートル程度の段ボールに入っているのですが、そんなに場所は取らないので収納庫がなくても大丈夫なはずだ。

【吉田委員】

町内会の直近の会計状況を見ると、184万7千円の繰り越しがあるので、予算に余裕がある。どこの町内も会計の中で調整して購入しているので、防災収納庫に関しては町内でやりくりしたらどうか。

【有泉委員】

このような大切な問題は、専門家に頼むとか、お金は市から出してもらうことは考えなかったのか。

【提案者】

何年も前からこの話は出ており、国会議員にも話もしてあるが、やってくれるという話にならなかったのだから、自分たちでやるという姿勢を示しているのだ。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

- ・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

- ・「新-10 富岡若宮の夏祭り活性化事業」について説明

【提案者】

- ・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-10」について質疑を求める。

【船崎委員】

祭半纏の50着だが、生地もよい質のものを使っているのだから値段が高いと思うが、もっと安いものでは駄目なのか。また今使っている半纏はどれくらい使用されたのか。個人的な主観だが、高いものよりも安いもので、5年くらいで買い換えたら良いと思うが。

【提案者】

今のものは30年も使っていて、今回提案したのも長く使いたいのので、しっかりしたものがよいと考える。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案概要の説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

・「新-11 公園整備で融和と絆の活性化事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-11」について質疑を求める。

【船崎委員】

鴨島三丁目の公園は無く、市で公園の設置予定もないということだが、都市計画だと公園をつくらなければいけないがどうか。

【提案者】

その点は市に話をしている。都市計画の総面積の3パーセント以内で、緑地帯、あるいは調整池をつくらなければいけない法律があるが、開発業者の倒産で公園の設置は流されてしまった。

【船崎委員】

市では土地利用の許可をしたということだが、市では補助せずに町内でやってくれということか。

【提案者】

そのために地域活動支援事業がある。

【浦野副会長】

この土地は市では公園という扱いなのか。そうだとしたら、都市計画を地域活動支援事業でやる前に、市で水飲み場等を設置してから、後は町内でやってくれということにはならないのか。

【提案者】

そうはならない。

【浦野副会長】

2年、3年越しということだが、そうなると市から動いてもらわないといけないと思う。そうすると市は公園の維持管理費を鴨島三丁目に支払うことになるはずだ。

【提案者】

市では助成は出来ないとのことだ。

【船崎委員】

これを認めることになると、今後も花を植える場合でも市はやらないから全て地域活動支援事業に出てくることになる。

【提案者】

ジャングルジムやブランコの設置も町内からは必要ないという話もある。鴨島こどもの家にもブランコは使っていないことにより廃止になっているし、ブランコの廃止の話はあちこちである。地域の役員さんたちとの話し合いで、ブランコよりもスラックラインを売りにしていこうということだ。整地しなければ、スラックラインの設置は難しい。

【浦野副会長】

写真を見たが、ここが公園として遊べる土壌になるのか。また関川の堤防の近くの場所か。

【提案者】

関川の堤防の縁だ。

【浦野副会長】

地面は手入や整備しなくても大丈夫なのか。

【提案者】

町内で草刈りもしているし、ローダーを入れて整地もした。そうしたら大きな石がゴロゴロと出てきたので、住民に集まって頂いて石拾いをした。その上に5トン積みのトラックで5台分の砂を入れたが、今年の春になったら足りなくなったのでまた整備している。

【高橋副会長】

この提案で優先順位を付けるとしたら、何が優先か。

【提案者】

街灯の電線と水道管を地下埋設する上に、コンテナハウスを設置する予定であり、優劣はなくどちらも必要だ。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【野口係長】

・「新-12 地域の安全・安心まちづくり事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-12」について質疑を求める。

【船崎委員】

無線機はどのくらいの通信範囲なのか。次に、訓練での使用であれば理解できるが、実際の水害の時には意味がないと思うがどうか。

【提案者】

平地で5キロメートル圏内の範囲で、主には訓練のために使う。

【船崎委員】

訓練で使うということであれば、レンタルでもよいのではないか。

【提案者】

レンタルだと日常的に使えないので、常に自分たちで使えるようにしたい。

【浦野副会長】

関川のところに樋門があるが、豪雨の時に樋門を閉めたりする管理は誰がやるのか。

【提案者】

町内の管理者がやっている。

【浦野副会長】

樋門の開閉の訓練のために欲しいということではいいのか。

【提案者】

樋門の開閉もそうだが、防災訓練にも使いたい。

【浦野副会長】

中越地震の基金で、各町内で防災物資を購入できるお金が支給され、他の町内では購入したのだが、それらを活用したか。

【提案者】

そういうことは聞いたことはあるが、当時、私は役員でなかったので確認していない。

【田中委員】

この無線を使うに当たって、免許は必要ないのか。

【提案者】

以前は必要だったが、今は管理者の届け出だけでよい。

【秋山会長】

これでヒアリングを終了する。

— 提案者退席・提案者入室 —

【秋山会長】

・ヒアリングの実施方法について説明

事務局に提案の概要説明と、提案者に事業説明を求める。

【野口係長】

・「新-13 お諏訪さんの大ケヤキと周辺環境整備事業」について説明

【提案者】

・事業内容について説明

【秋山会長】

「新-13」について質疑を求める。

【船崎委員】

これは市の指定文化財だが、市でやるのではなく、町内でやるということか。

【提案者】

そうだ。昨日も稲田小学校の5年生の自然環境の授業の一環で、樹木医を呼んで大ケヤキに肥料を植えた。毎年6月に行っている。

【田中委員】

横の道路側の土地は誰の土地か。昔の赤道だが、土地改良区のものなら土地改良区に枝木を切ってもらえばよいと思うがどうか。

【提案者】

枝木が学校敷地に掛かっているので教頭先生にも頼まれているのだ。

【田中委員】

神社境内の木が農道をまたいで、学校の敷地に入っているということは分かった。

【有泉委員】

上越市から文化財の指定を受けているのに、市からは何も援助はないのか。

【提案者】

文化行政課からは、毎年小学校5年生と肥料をやるときに、6万円以上の費用が掛かれば市から3分の1だけ補助が出るが、子どもたちの飲み物や他の費用は出ないのだ。

【有泉委員】

それは維持するためのお金ではないのか。

【提案者】

天然記念物になっても、一切補助はない。町内で管理することになっている。

【有泉委員】

維持する費用は出るが、伐採等の費用は一切でないということか。

【提案者】

樹勢を維持するための助成に限られている。

【金子委員】

毎年補助金を申請しなければいけないということか。

【提案者】

そうだ。申請を出した時だけだ。

【浦野副会長】

諏訪の大ケヤキは毎年提案出されていると思うが、何回くらい採択されているのか。

【野口係長】

これまで、平成22年度、24年度、25年度の3回助成されて、合計331万4千円だ。

【浦野副会長】

地域活動支援事業費補助金は、これまで道案内の看板等に使われており、市の文化財には指定されているが、古くて何年も持たないという話が出ている。有名な鎌倉の八幡宮の大銀杏ですら伐採するのだから。樹木医はどう捉えているのか。賽銭箱のお金で6万円くらいの収入しかない中で、維持管理をするのに、町内の人も大変だと思う。

【提案者】

児童の通学路に枝が出ていて危ないから切りたいということだけだ。

【浦野副会長】

勿論そうだが、維持管理するのは様々な問題が出てくる。

【提案者】

維持管理するために、今年は子どもたちに行燈に絵を描いてもらい飾り、見に来てもらった祖父母にお賽銭を入れて貰おうということを計画している。有名になれるように考えたりもしているので、ご理解いただきたい。

【秋山会長】

これでヒアリングを全て終了する。

— 提案者退席 —

次第3その他に移る。

(日程調整)

・第3回地域協議会：6月28日(火)午後6時30分から 新道地区公民館

その他で事務局から何かあるか。

【野口係長】

- ・今後の日程再確認
- ・名刺作成の再確認

【吉田委員】

採点の方法について、提案事業の代表者となっている委員は採点しないという考え方でよいのか。また、新道南部地区の提案もあり、その会にも参加しているので、採点してはならないのか。

【野口係長】

提案団体の代表の場合は採点出来ないが、構成員の一員であれば採点できる。

【秋山会長】

- ・閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。